

【総括】

クラスター分析

三大都市圏の全メッシュを対象として、K-means法にて実施

クラスター分析

- 三大都市圏の全メッシュを対象にクラスター分析
 - 都市圏の比較が可能となる
- 3 報告で用いた全ての変数を用いる
 - 相関マトリックス： $r \geq 0.7$ の組み合わせについては、代表する1変数のみを使用（26変数が採用）
- 全変数をZ-score化した後に、分析に使用
- K-means法：8～12クラスタで試行

クラスター数の決定

◆各クラスターにおける三大都市圏の構成比を検討

◆構成比が10%未満となるクラスター数

◆8クラスター：中京圏（3）、京阪神圏（1）

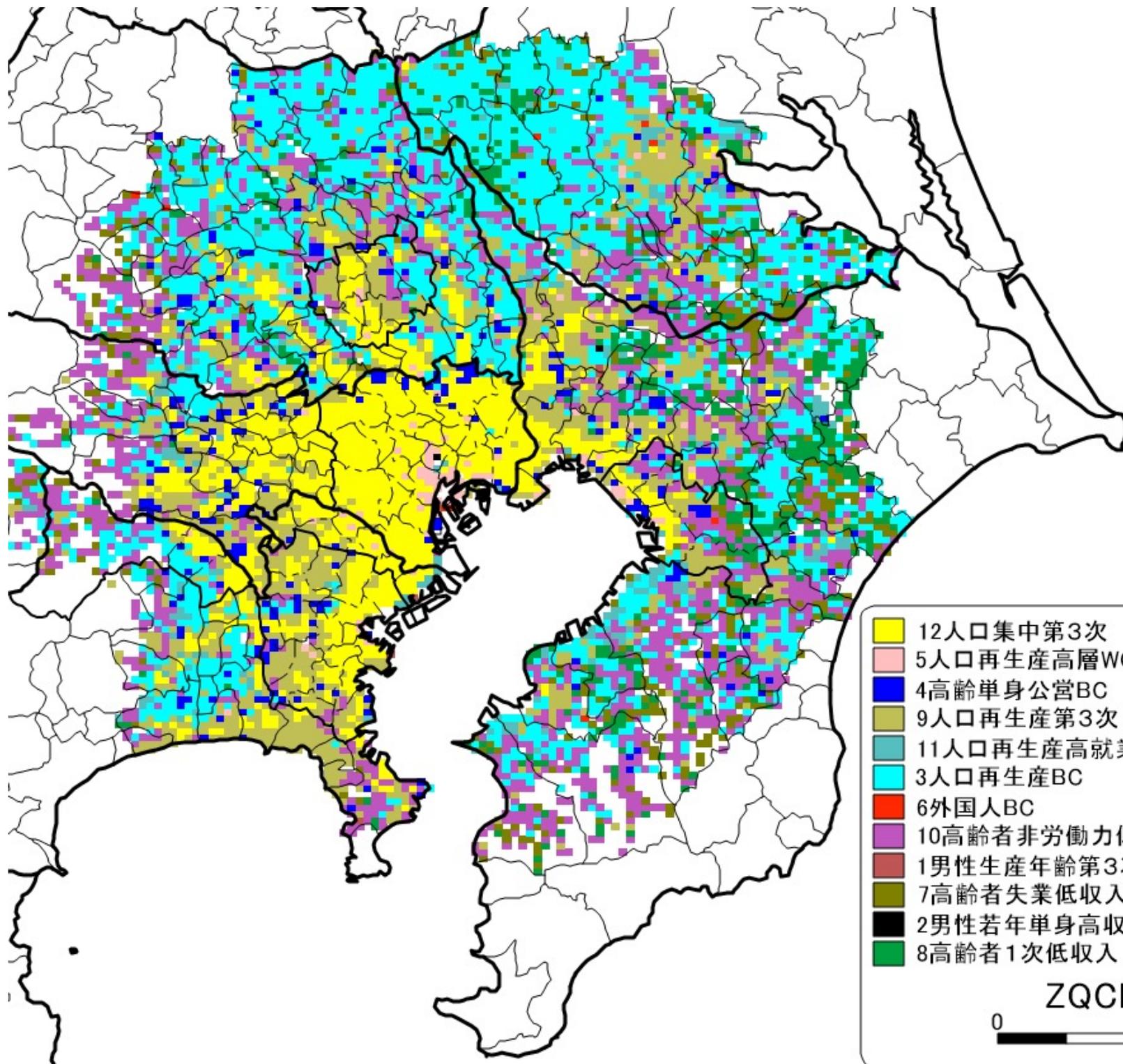
◆9クラスター：中京圏（3）、京阪神圏（2）

◆10クラスター：中京圏（3）、京阪神圏（2）

◆11クラスター：中京圏（4）、京阪神圏（2）

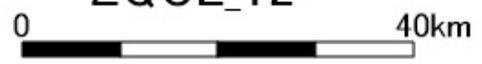
◆12クラスター：中京圏（2）、京阪神圏（2） ☆

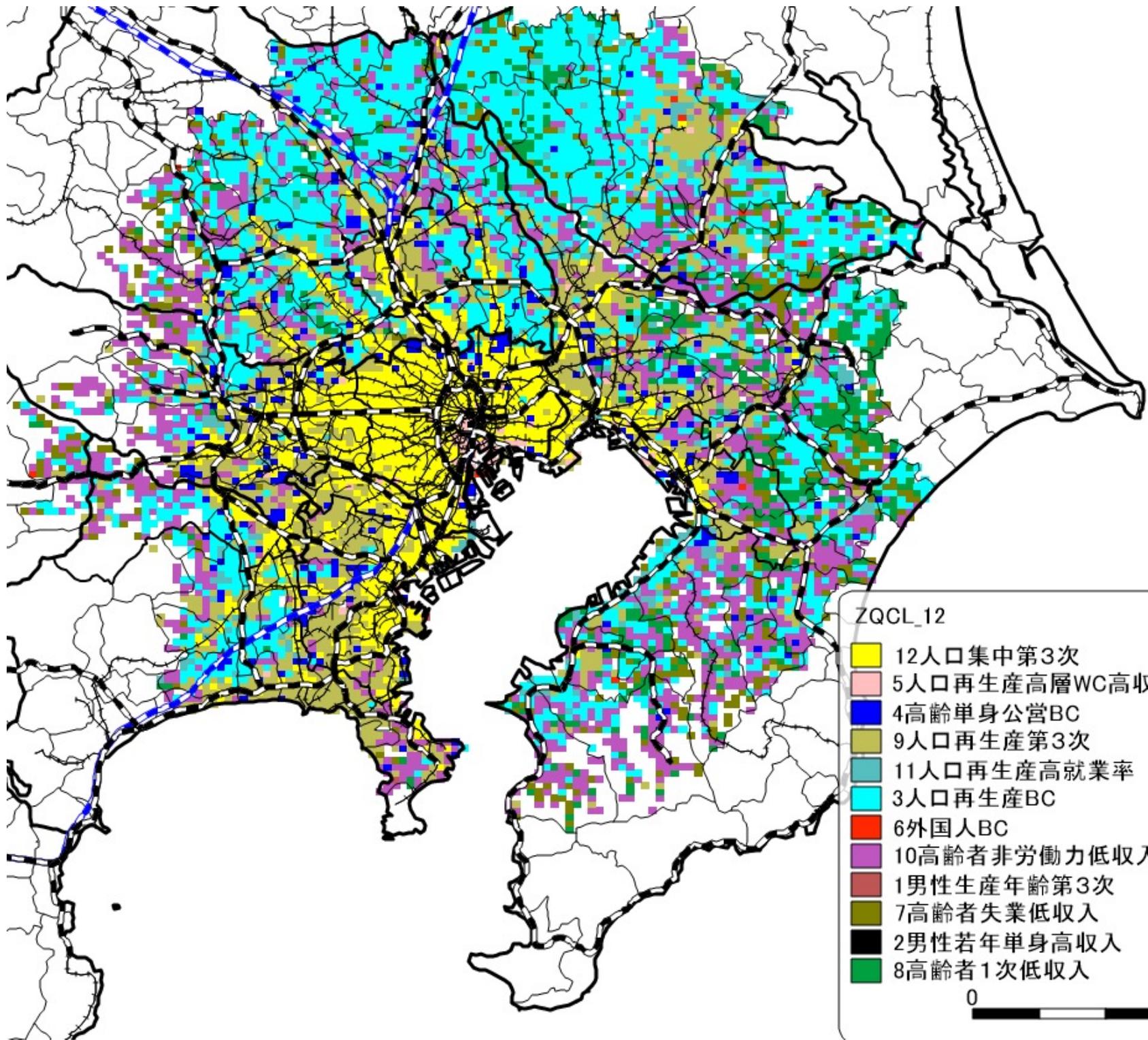
◆人口量（密度）が多いクラスターから降順で並べた



- 12人口集中第3次
- 5人口再生産高層WC高収入
- 4高齢单身公営BC
- 9人口再生産第3次
- 11人口再生産高就業率
- 3人口再生産BC
- 6外国人BC
- 10高齢者非労働力低収入
- 1男性生産年齢第3次
- 7高齢者失業低収入
- 2男性若年单身高収入
- 8高齢者1次低収入

ZQCL_12





ZQCL_12

- 12人口集中第3次
- 5人口再生産高層WC高収入
- 4高齢単身公営BC
- 9人口再生産第3次
- 11人口再生産高就業率
- 3人口再生産BC
- 6外国人BC
- 10高齢者非労働力低収入
- 1男性生産年齢第3次
- 7高齢者失業低収入
- 2男性若年単身高収入
- 8高齢者1次低収入

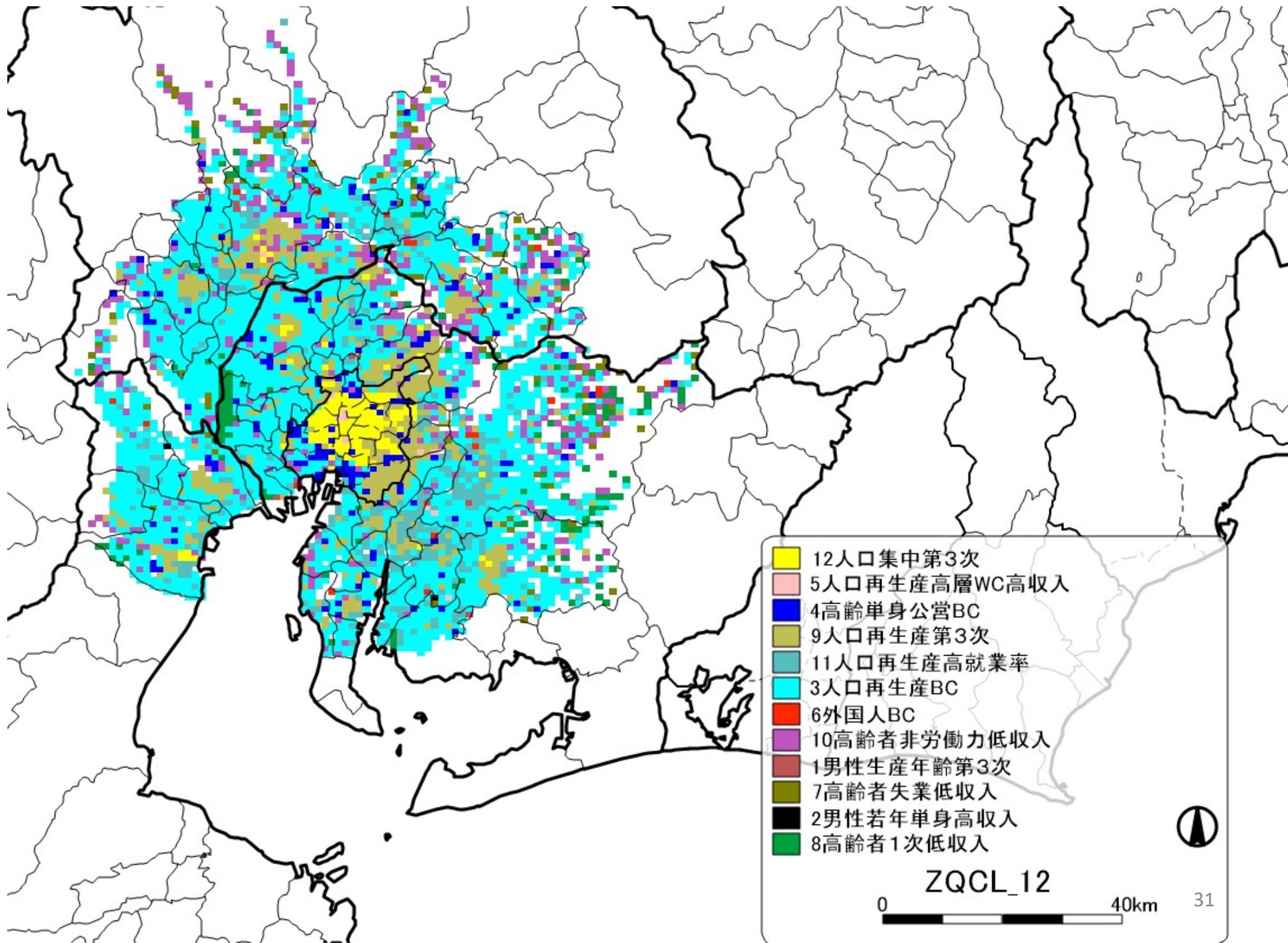
事業者種別

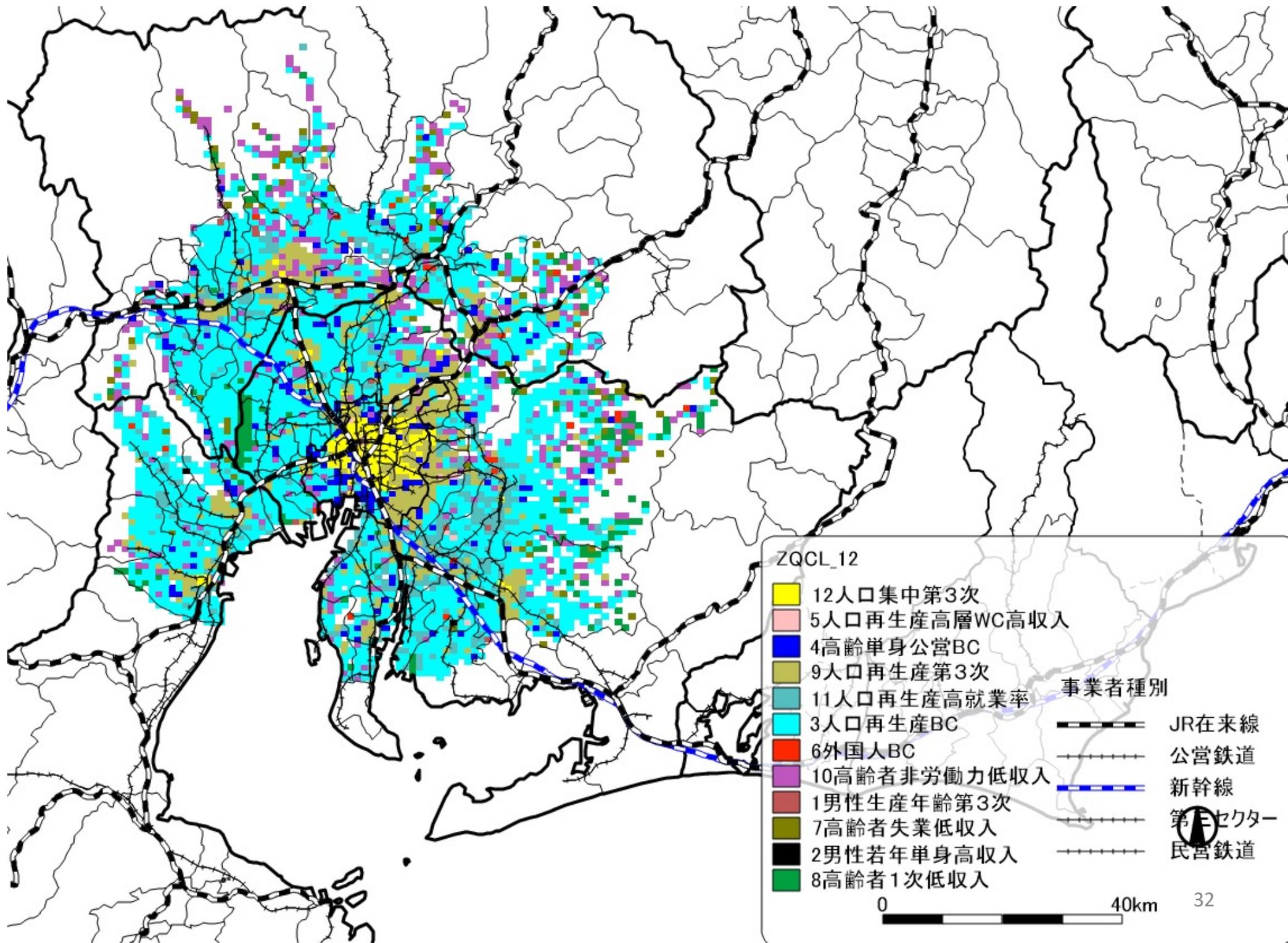
- JR在来線
- 公営鉄道
- 新幹線
- 第三セクター
- 民営鉄道



東京大都市圏の特徴

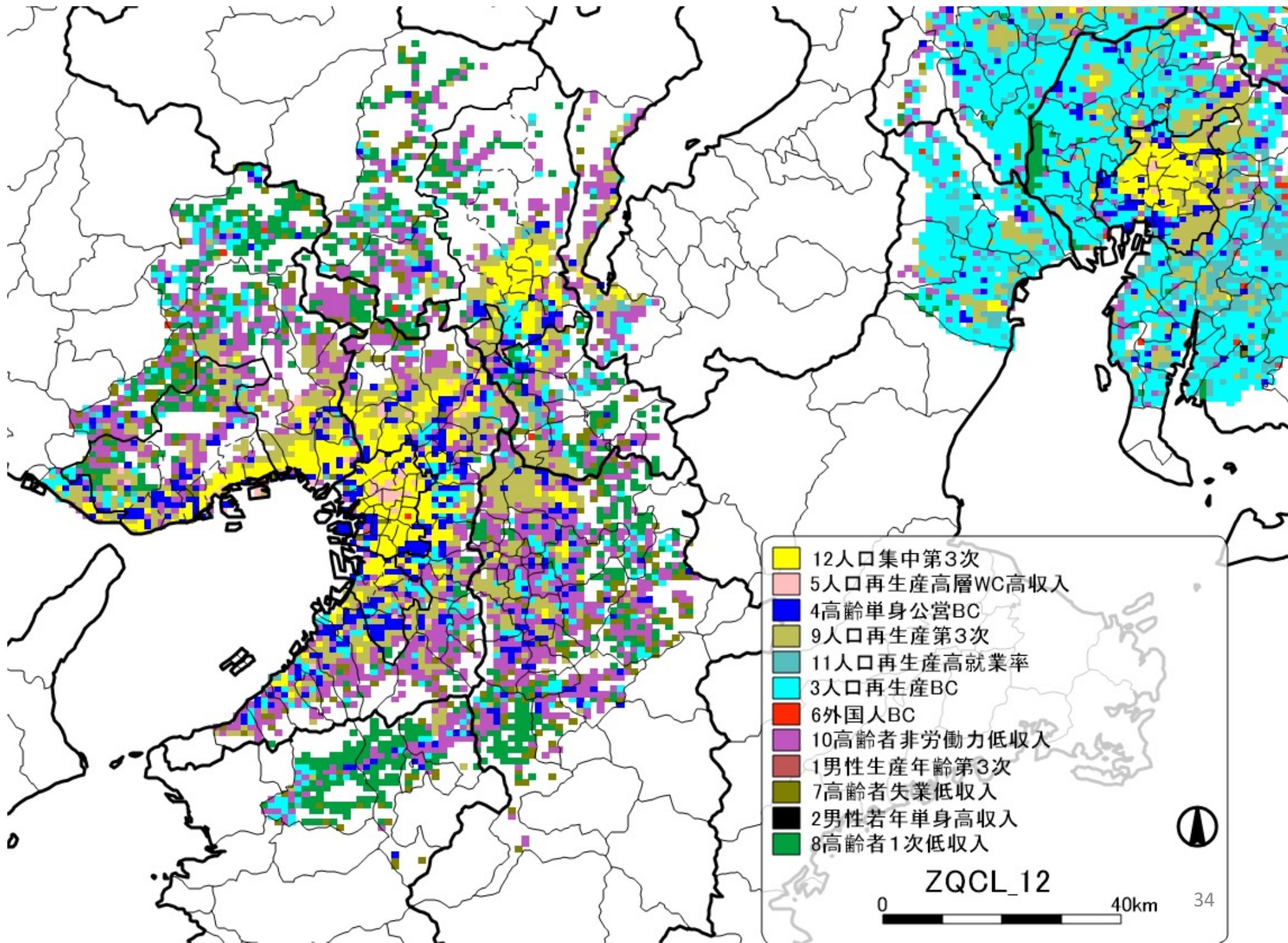
- ◆人口稠密な地域が23区を中心に広く分布
- ◆人口再生産をおこなっている高所得世帯が都心部に集中
- ◆郊外に延びる鉄道沿線に、人口再生産を行っている世帯が集中
- ◆鉄道沿線から離れた地域に、人口再生産を行っているブルーカラー層が分布

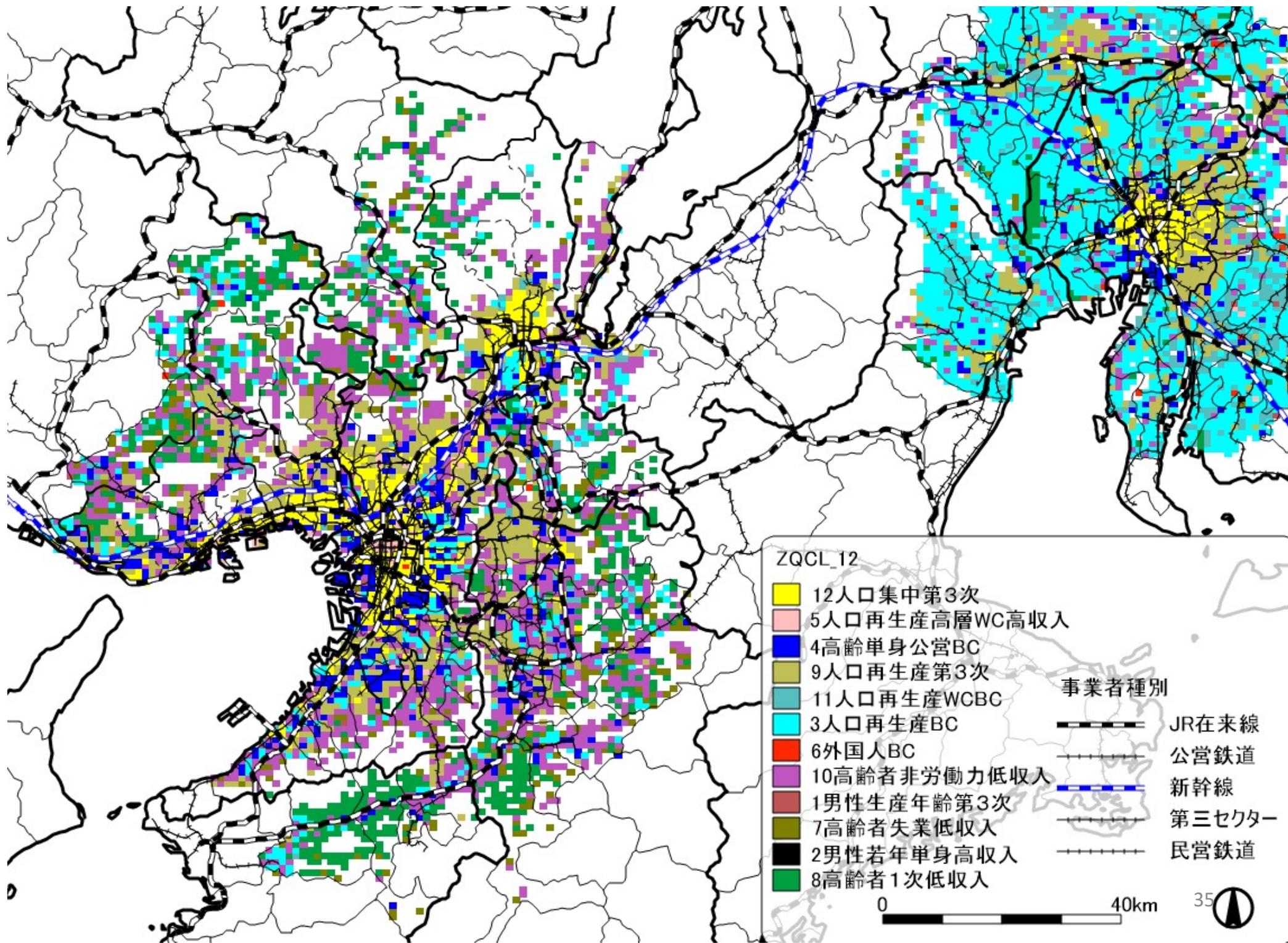




中京大都市圏の特徴

- ◆人口再生産を行っているブルーカラー層が厚く分布している
- ◆人口稠密な地域は、名古屋市中心部に集中
- ◆都心と郊外、郊外と郊外をつなぐ鉄道沿線に、人口再生産を行っている世帯が集中
- ◆豊田市などに、人口再生産高就業率地域および外国人BC地域が集中





京阪神大都市圏の特徴

- ◆人口稠密な地域は、大阪・京都・神戸に集中
- ◆人口再生産をおこなっている高所得世帯は大阪市の中心部に集中
- ◆都心と郊外をつなぐ鉄道沿線に、人口再生産を担っている世帯が集中
- ◆郊外には、高齢者世帯が大量に集積している

	三大都市圏			合計
	東京圏	中京圏	京阪神圏	
1 男性生産年齢第3次	11	12	5	28
	39.30%	42.90%	17.90%	100.00%
2 男性若年単身高収入	2	3	0	5
	40.00%	60.00%	0.00%	100.00%
3 人口再生産BC	2509	2399	429	5337
	47.00%	45.00%	8.00%	100.00%
4 高齢単身公営BC	293	175	444	912
	32.10%	19.20%	48.70%	100.00%
5 人口再生産高層WC高収入	99	12	64	175
	56.60%	6.90%	36.60%	100.00%
6 外国人BC	12	21	6	39
	30.80%	53.80%	15.40%	100.00%
7 高齢者失業低収入	488	98	335	921
	53.00%	10.60%	36.40%	100.00%
8 高齢者1次低収入	521	150	794	1465
	35.60%	10.20%	54.20%	100.00%
9 人口再生産第3次	1599	563	846	3008
	53.20%	18.70%	28.10%	100.00%
10 高齢者非労働力低収入	1656	446	1362	3464
	47.80%	12.90%	39.30%	100.00%
11 人口再生産高就業率	247	396	78	721
	34.30%	54.90%	10.80%	100.00%
12 人口集中第3次	1338	141	523	2002
	66.80%	7.00%	26.10%	100.00%
	8775	4416	4886	18077
	48.50%	24.40%	27.00%	100.00%

三大都市圏の特徴

➤ 東京大都市圏

- 人口稠密な地域が23区を中心に広く分布

➤ 中京大都市圏

- 人口再生産を行なっている世帯が広く分布

➤ 京阪神大都市圏

- 大阪・京都・神戸という3つの核を取り囲んで、高齢者が広く分布

参考文献

- 浅川達人, 2006, 「東京圏の構造変容—変化の方向とその論理—」『日本都市社会学学会年報』 vol.24 pp.57-71
- 浅川達人, 2008, 「社会地区分析再考—KS法クラスター分析による二大都市圏の構造比較—」『社会学評論』 234号 pp.299-315
- ASAKAWA Tatsuto, 2016, Changes in the Socio-Spatial Structure in the Tokyo Metropolitan Area: Social Area Analysis of Changes from 1990 to 2010, *Development and Society*, Vol.45, No.3, pp.537-562
- 倉沢進・浅川達人(編), 2004, 『新編東京圏の社会地図1975-90』東京大学出版社
- 玉野和志, 2005, 『東京のローカルコミュニティ』東京大学出版社
- 玉野和志・浅川達人(編), 2009, 『東京大都市圏の空間形成とコミュニティ』古今書院
- 豊田哲也, 1999, 「社会階層分極化論と都市の空間構造」成田孝三編『大都市圏研究(上)』大明堂
- 橋本健二, 2017, 「1980年以降の格差拡大と大都市分極化」『日本都市社会学学会年報』, 35巻, pp.23-44
- 橋本健二・浅川達人(編), 2020, 『格差社会と都市空間: 東京圏の社会地図1990-2010』鹿島出版会

謝辞

- 本研究は、科学研究費補助金（基盤研究A）「三大都市圏における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する計量的研究」（研究代表者：橋本健二，研究分担者：樋口直人・浅川達人・片瀬一男・佐藤香・武田尚子・津田好美・石田光規・妻木進吾・丹辺宣彦）による研究の一部です。
- 分析結果は暫定的なものであり、今後、変更される可能性があります。引用される場合は、知見の部分を中心とし、具体的な数値・図表等については、論文・著書等の公表までお控え願います。
- 連絡先：t.asakawa@waseda.jp